

生きる力にアクセス

2023年度 活動報告書

一人ではどうにもできない貧困、
だから一緒に変えていく。

We walk together toward
the world without poverty.





フィリピンで、貧困の中で生きるということ

“ 一人息子を育てていて一番辛い瞬間はね、
 お腹をすかせて泣く息子に、ゴミ捨て場から拾ってきた残飯を食べさせるしかない時。
 病気になるリスクを知りながら、それ以外に何も用意してあげられない時。

都市スラムに暮らす女性アンジーの言葉です。

大切な人を守るどころか、危険にさらさざるをえない悔しさ。
 ふがいなさ、無力感、怒り、絶望、自責。
 胸が詰まるような想いに押しつぶされそうになりながら、
 人々は貧困と闘い、日々を生きています。

「泣いてたって問題はなくならないでしょ。
 だったら、ジョークの1つでも言って笑ってた方がいいよね。」

アンジーと同じスラムに暮らす女性たちは、そう言って笑いました。

笑顔という鎧で心を守りながら生きる人びととともに。
 私たちは、貧困の痛みを軽減させる活動を、36年間、続けています。



子どもに教育を受けさせたい。
 できれば自分で稼いで
 家族を養いたい。

36年の活動の中で出会った、数百人のお母さん・お父さんたちの共通の願いは、「子どもに十分な教育を受けさせること」でした。「仕事がほしい、自分で稼いで子どもに教育を受けさせたい」と話す人にもたくさん出会ってきました。



仕事があれば、その収入で三食食べられ、
 子どもを学校に行かせられる。
 病気やけがをしても、病院に行ける。
 そうした子どもや自分の願いを自ら叶えることができ、
 「援助されることへの申し訳なさ」を感じる必要もない。

そんな願いに応えるべく、私たちはずっと
 「子どもに教育、女性に仕事」を届けることを
 活動の中心に据えています。

「力をつける」 アクセスの3つの活動



1. 子どもに教育を

8人に1人が小学校さえ卒業できないフィリピン。アクセスは、都市スラムと農漁村で、小中高校を卒業するための教育支援プログラムを実施しています。(1997年～)

2. 女性に仕事を

フィリピンの貧困層の大半は農漁村に暮らすと言われ、仕事を求めて都市部へと移り住む人々が後を絶ちません。住み慣れた地元で家族と一緒に暮らしたいと願う女性や若者を対象に、フェアトレードでの仕事を創出しています。(2000年～)

3. 日本の若者に成長の場を

どうして貧困は生まれてしまうのか？
 貧困の原因を探りながら、解決のために行動する人を増やすことも大切です。スタディツアーやインターンシップ、ボランティア、講演、イベントなどを通して、日本の若者のアクションを後押ししています。(1990年初頭～)



フィリピン共和国

広さ:	日本から北海道をのぞいたくらい	GDP成長率: 5.5% (2023年) *1
人口:	1億903万人 世界13位	識字率: 96.5% (2019年) *2
言語:	80以上	小学校卒業率: 87.98% (2022年) *3
公用語:	フィリピン語、英語	
宗教:	90%以上がキリスト教徒	

出典: 日本政府外務省

*1.3世界銀行 *2 フィリピン統計局

成長するフィリピン経済と、広がる格差

この20年でフィリピンの都市部の暮らしは大きく変化しました。年6%前後の経済成長が続き、ショッピングモールや新車が増え、スマホを片手にスターバックスを楽しめる中流層が増えました。その一方で、貧富の格差は拡大を続けています。コロナ禍の経済停滞とその後の物価上昇の影響で、貧困層22.4%の暮らしは改善するどころか悪化しています。

京都生まれのアクセス、 どうしてフィリピンで活動するように？

アクセスが活動を始めたのは1988年。京都のお菓子メーカーの社会貢献活動の一環として始まり、当初の活動は、日本に暮らす外国人の方々へのサポート活動が中心でした。創設者の一人がフィリピン人だったこともあり、90年代に入ってからフィリピンでも活動するようになりました。

生きる力・変える力を伸ばす

私たちがいつも大切にしているのは、「アクセスが、モノ・カネを提供するだけの存在になってしまわないこと」です。貧困や権利侵害に苦しむ子ども・若者・女性たちが、自らの力でしんどさから抜け出せるように。苦しむ人を減らしたいという私たちの願いが、貧困を生み出す構造を変える力となっていけるように。一人ひとりの中にある、「生きる力・変える力」を引き出すことを、何より大切にしています。



アクセスの3つの活動

1 子どもに教育を



323人に
学びのチャンスと生きる力を

▼就学サポート

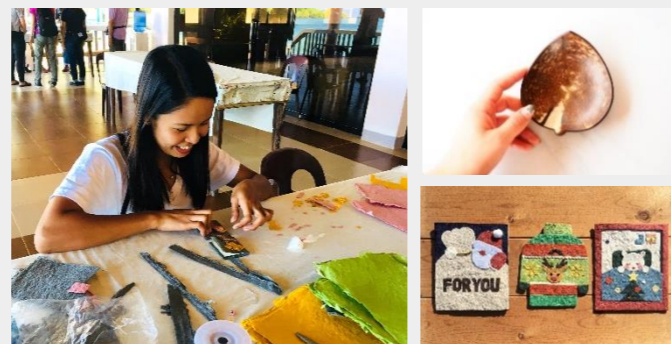
貧困家庭の子どもたちに、制服・靴・カバン・文房具などを現物支給。学校に収める諸費の一部も提供し、経済的理由での中退を防いでいます。

▼子どもの権利を知り、生きる力を伸ばす

体罰・いじめ・児童労働・育児放棄などは、子どもの権利侵害。ワークショップで子ども自身に権利を知ってもらうとともに、つらい・苦しいを言葉で表現できるようになるための訓練をしています。子どもたちの保護者を対象に、子どもの権利を尊重した子育ての仕方を学ぶセミナーも継続的に開催。地域の大人が協力し、子どもたちが安心して成長できる環境づくりに取り組めるようサポートしています。

■詳細はP5-6に

2 女性に仕事を フェアトレード



お米**43kg**相当の収入に

▼仕事のチャンスと稼ぐ力

「働きたいけど仕事がない」と、もどかしい思いをしていた農村の女性や若者たちは、フェアトレード事業に参加することで、手作り雑貨を生産するスキルを習得。10名がフェアトレード生産者として働き、月平均1,743ペソ（約4,800円/米43kg相当）の安定収入を得ています。「夫の稼ぎと合わせることで、子どもを学校に通わせられるようになった」といった声が届いています。

▼スキルへの誇りと自信

日本のお客さまから高く評価いただけてきたことで、生産者は自分のスキルに誇りを持てるようになりました。また、自ら稼げるようになったことで、「家計の重要な話し合いで自分も意見を言えるようになった」と話す女性もいます。

■詳細はP7に

3 日本の若者に 成長の場を



年**260**人以上の若者が参加！

▼オンライン&対面スタディツアーに113人

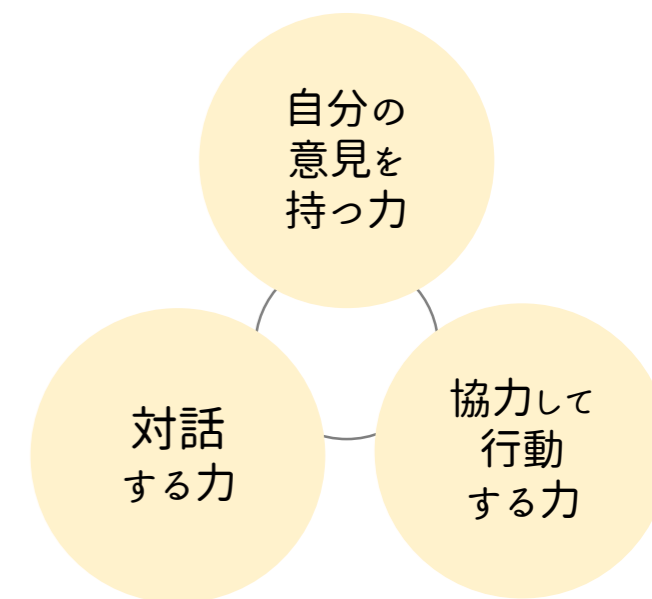
2023年度は、都市スラムなどをバーチャル訪問するオンライン・スタディツアーを4回、実際にフィリピンを訪れるスタディツアーを5回開催しました。貧困の中で生きる人々のリアルな現状を知るとともに、貧困が生まれる構造や自分ができるアクションについて、じっくり語り合いました。

▼インターンシップやボランティア参加は150名超

若者の社会を変える力を引き出しながら、ともに社会課題を解決していくことをめざし、2023年度も多くの若者に活動に参加してもらいました。春のスタディツアーでは3名の学生インターンをツアーリーダーとして採用。フェアトレード事業などに関わったボランティアはのべ150名を越えました。

■詳細はP8に

アクセスが考える
「生きる力・変える力」



- ✓ 安心してすごせ、本音で語り合える場や関係性をつくることで、自分たちの手で問題を乗り越えていける力を伸ばします。
- ✓ 支援する側・される側を固定せず、つながりと協働のなかで、互いの力を伸ばし合う関係を大切にします。

子どもに教育を



アクセスの子どもプログラム

貧困家庭の子どもが
小中高校を卒業できるように、
また子どもの権利が侵害されることなく
安心してのびのびと成長できるように、
子どもサポーターの皆さんと一緒に
に支援する、教育里親制度です。

継続して成長を見守れる、一對一のサポート



- ✓ 子どもサポーターの方からのご支援で、フィリピン子ども一人が一年間、学校へ
- ✓ 応援してくれるサポーターの存在が、学び続ける上での励みに

1997年から3000人以上の就学をサポート！

プログラムの3つの柱

1 就学サポート

通学に欠かせない制服・カバン・文房具などを現物で支給。学校に支払う諸費の一部を現金で支給しています。

2 土曜や夏休みのワークショップ

いじめや虐待、児童労働といった子どもの権利侵害から身を守るよう、子どもの権利を学ぶワークショップを実施しています。ゲームやロールプレイなども交えて楽しく学んだあとは、健康面に配慮した軽食も提供しています。

3 保護者セミナー

保護者や地域の大人を対象に、子どもの権利を尊重した子育ての仕方学ぶセミナーを開催。子どもたちがSOSを出してくれた時に、大人が協働して子どもの権利を守る環境づくりに取り組んでいます。

見に来てください！
動画や記事



YouTube 上で、
「アクセス事務局」と検索！



おすすめ動画/
【NGO代表と語る】
フィリピンで出会った「職業はゴミ拾い」な人々

2023年度は
323人の
学びをサポート！
56人が小学校を卒業

都市スラム 小学生90人
農漁村 小学生190人/中学生43人

【都市スラム】
マニラ市
トンド地区

【農漁村】
アラバット島
パレーズ地区

アクセスの
2つの事業地



2023年度の活動カレンダー

		2023年						2024年					
		6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	
学校	通学								通学 8/29~5/31				
	卒業式 夏休み												
アクセス	奨学生募集												
	学用品 配布												
	夏休み ワーク ショップ								子どもの権利を学ぶ 土曜ワークショップ (10回前後)				
		保護者会 & 保護者向けセミナー (ほぼ毎月)											

子どもを守る盾であり、 子育ての指針でもある「子どもの権利」



- 権利を知って経験を語り合うことを通じて、子どもたちはしんどさを表現する力を伸ばし、困った時にSOSを出せるようになってきています。
- 保護者向けセミナーでは、体罰や暴言以外の方法で子どもたちを育てられるよう、権利を守る育児法を伝えています。

子どもを守る最強の盾は 「教育×子どもの権利」

アクセスはなぜ子どもの権利に取り組むようになったのか。これまでの活動内容や、その成果、現在の課題などをまとめました。



全国20名以上のボランティアが 1000通以上を翻訳！

フィリピン子どもたちや保護者から届くメッセージの翻訳は、全国各地の翻訳ボランティアさんが日本語訳してくださいました！

働く母として、仕事でクタクタでも家事をしないとイケないので、子どもたちにイライラしてしまいがちでした。子どもたちを怒鳴りつけたり、キツイ言葉を使ったり、叩いたりしてしまうことも。でも、子どもの権利に基づく子どもとの接し方を学んだおかげで、最近はイライラをコントロールできるようになりました。(パレーズ地区の保護者 アナリンさん)



フィリピンから届いた声



農漁村在住の奨学生
カサンドラさん
中学2年生

夢を叶えて家族を支えたい

7人きょうだいの末っ子で、母は女手一つで私たちを育てています。授業がない時は私も母の仕事を手伝いますが、収入は不安定で一日一食しか米を食べられないこともあります。いまは家の手伝いをするだけで世界を飛び回り、家族を支えられるようになりたいです。



アクセス・フィリピン
事務局スタッフ
ジェリック・ララ

NGOの本当の役割とは

NGOとは、お金や物を提供してくれる存在だ、と考える人が少なくありません。でも、それは誤解です。僕らの本当の役割は、貧困の中で生きる人々自身が自らの手で現状を変えていけるようにすること。人々の中にある力を引き出し、背中を押すことです。

本プログラムは、子ども教育サポーターの皆さま、その他のサポーターや寄付者の皆さまからのご寄付、および5つの助成金(連合 愛のキャン/森村豊明会/風に立つライオン基金/日蓮宗あんのん基金/浄土宗平和協会)によって実施しました。

女性に仕事を

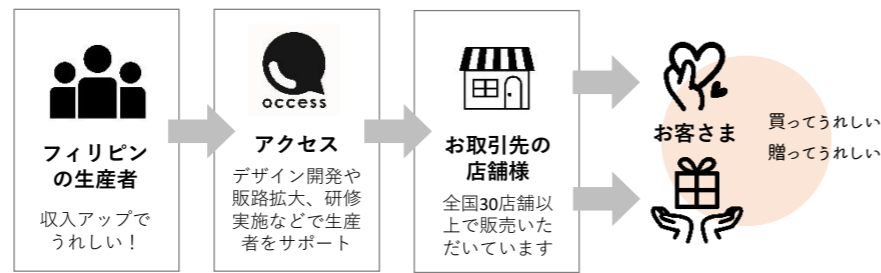
フェアトレード
事業



アクセスの フェアトレード事業

働きたくても仕事のない女性や若者に、
雑貨生産の仕事をお届け、生産された品物を
フェアトレード商品として販売。
安定した収入が得られるようにするとともに、
生産者グループとして協働する力の向上
につなげています。

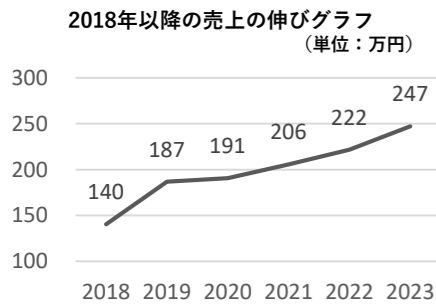
作る人・買う人・贈られる人
みんながHAPPYになれるのがフェアトレード



2023年度の売上は

247万円

と、過去最大に



生産者10人
に安定収入を
提供!



月平均
1,743ペソ*の
収入が
各生産者の手に

*米43キロ分に相当
*円換算すると約4800円

この仕事を始めて、子どもにミルクを
買ってあげられる余裕ができました!

夫の収入が途絶える時期は借金をして
いましたが、今は自分の稼ぎで生活をつ
なげるようになりました。

家計の重要な決断をするときに、自分も
自信をもって発言できるようになりまし
た。

オンラインストア



実店舗でのお取り扱い状況は
季節によって変わります。お
近くのショップをお探しの際
は、お問い合わせください。

フェアトレード事業部からのおススメ動画



テレビで紹介
されました!
朝日放送のCAST



生産現場を訪問!
現地スタッフによる
バーチャルツアー



日本の若者に 成長の場を



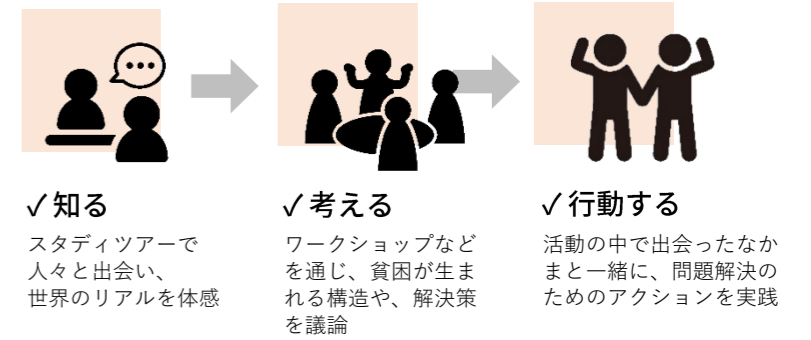
スタディツアー | インターンシップ | ボランティア



日本の若者の 「変える力」を伸ばす

フィリピンの人々の暮らしや想いにふれる
と、世界中の貧困や人権侵害が、他人事とは思えなく
なります。「かわいそうだから助けてあげたい」
を越えて、貧困を生み出している構造に目を向
けていながら、同じ想いを持った人と協力して、
できることから行動にうつしていく。そんな「変える
力」を伸ばせる活動の場をつくっています。

世界を変える、3ステップ



2023年度は

知る 113人が フィリピンを体感



オンライン&対面スタディツアー
オンラインと対面でフィリピンの都市スラム
や農漁村を訪問。9回のスタディツアーを通
じたフィリピンの人々との交流で、貧困の現
実やフィリピンの人々の魅力を体感しまし
た。

*連携団体
お茶の水女子大学/京都市教育委員会/龍谷大学
すばる高校/立命館大学/立命館高校/立命館宇治高校

本音で語り合い、考え抜き、学び合う

考える



スタディツアーを通じての自分の中の最大の変化は
「考える力がついた」ことです。何度もディスカッショ
ンを重ねて、その度に自分の想像力の未熟さを痛感しま
した。ツアー中に投げかけられた問いに対する正しい答
えは見つかっていないけど、持っている知識を使って
じっくり話し合い、考え抜いた経験は自分を確実に成長
させてくれました。(スタディツアー参加者/大学生)

行動
する

若者と一緒に企画
春のスタディツアー

3名の学生インターンと
5ヵ月かけて春のスタディ
ツアーを実施しました。ど
うすれば貧困の現状や構造
の原因を理解してもらえる
か、丁寧に話し合っ
て準備。迷い悩みつつも、全
力で取り組むことで、企画す
る力や伝える力を伸ばすこ
とができました。

のべ150名以上が
ボランティアとして活動

2023年度も、多くの若者からボラ
ンティア希望の問い合わせが。フィ
リピンから届いたフェアトレード商
品の検品作業や、商品の魅力を伝える
SNS運用などを担っていただきました。
検品ボランティアは、フェア
トレード事業の意義知ってもら
う機会であると同時に、貧困問題に関
心を持つ人々同士の出会いや交流の
場にもなっています。

社会人GETによる教材開発

GET(Global Education Team) メンバー3名は、フィリピンの暮らしを楽しくリアルに
体感できるボードゲーム教材の開発を継続。開発教育協会主催の「開発教育全国研究集
会」に出席し、多くの方にボードゲームを体験いただきました。


一緒に歩んでくださった皆さま

アクセスが貧困や人権侵害をなくす活動を継続できているのは、たくさんの方々が活動を応援してくださっているからです。一緒に歩んでくださっている方々の一部をご紹介します。

 **58名**
正会員

 **780口**
サポーター

 **約150名**
ボランティア・プロボノ

 **3名**
インターン



ご寄付

資金 242件
本・CD・DVD・ゲーム 65件
書き損じはがき 24件/755枚



人見とも子さん

フェアトレード商品お取引先
シサム工房 副代表

多くの組織とのお取引を経験してきましたが、長年組織が続いているNGOに共通しているのは、「人を愛し、人の幸福を心から願い、人を育てることに力を注いでいる」という特徴です。アクセスさんのフェアトレード商品も、人と丁寧に向き合ってきた成果として出来上がっていることを強く感じています。



坂野篤史さん

元ツアーリーダー/現子どもサポーター

スタディツアーに参加して以来、私にできることをずっと考えてきました。その一つに、アクセスの子どもサポーターがあります。奨学生から届くお手紙は本当に感動もので、よく見返して元気もらっています。私一人にできることは限られているけど、アクセスならきっと、たくさん笑顔を守ってくれると信じて、ささやかながらサポートさせていただいています。



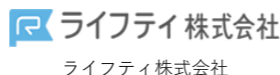
薬院オーガニック株式会社



株式会社 オルタナティブツアー



ブランシェ株式会社



ライフティ株式会社

1999

sisam

FAIR TRADE - design

有限会社 シサム工房



株式会社ココウェル



株式会社ビジネスパートナー



一般財団法人H₂Oセンター



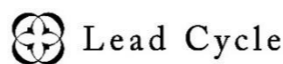
ブックオフコーポレーション株式会社



環境創研株式会社



株式会社 大湖



Lead Cycle 株式会社

■2023年度にご支援いただいた助成団体

- 公益財団法人 風に立つライオン基金 「フィリピン農漁村における子どもにやさしいコミュニティづくり」
- 公益財団法人 森村豊明会 「フィリピン都市貧困地区における子どもにやさしいコミュニティづくり事業」
- 日蓮宗あんのん基金 「フィリピンの農漁村における子どもの権利促進事業」
- 浄土宗平和協会 「フィリピン都市貧困地区における子どもにやさしいコミュニティづくり事業」 (人件費助成)
- 連合 愛のキャンパ 「フィリピンの農漁村における子どもにやさしいコミュニティづくり」




ロゴに込めた思い

ふきだしの形は、「みんなで話し合うことを通じて活動を創っていく」というアクセスのスタイルを表現しています。「活動を通じて支え合う関係をつくり、その中で笑顔ふやしていきたい」という思を込めて、ふきだしがニッコリ笑っているようなデザインになりました。



アクセスの公式アンバサダーにおさるの「ターシャん」が就任!

Illustrated by Mina Satō

 mameshibaz

2023年度 活動計算書

2023年4月1日～2024年3月31日 (単位:円)

収入の部	2022年度	2023年度
サポーター費・会費	9,252,621	9,322,500
寄付金	4,878,109	8,471,041
助成金	1,925,000	3,185,000
フェアトレード事業	2,218,036	2,466,885
スタディツアー事業	2,095,570	4,926,833
講師派遣事業収入	301,515	253,250
その他	172,672	280,127
合計	20,843,523	28,905,636
支出の部	2022年度	2023年度
海外事業費	14,007,536	14,730,030
フェアトレード売上原価	1,142,496	1,034,589
国内事業費	6,062,548	7,640,724
管理費	3,262,402	4,371,856
合計	24,474,982	27,777,199
当期経常増減額	△3,631,459	1,128,437
経常外費用	10,000	0
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000
当期正味財産増減額	△3,711,459	1,128,437
前期繰越正味財産額	7,289,695	3,578,236
次期繰越正味財産額	3,578,236	4,636,673

サポーター費・会費
マンスリー・サポーターが増加したことから、活動と一緒に進めてくださる方々の数が過去最高となりました。

寄付金
「新理事長の右腕を採用する」ためのクラウドファンディングおよびフィリピンの子どもたちに靴を届けるキャンペーンに取り組んだことで、寄付額が大きく増えました。

助成金
5つの助成団体から子どもの権利啓発事業をご支援いただきました。

フェアトレード
クラウドファンディングで採用した新職員がフェアトレード事業を担当し、売上アップに貢献しました。

スタディツアー
対面スタディツアーの本数が増えたことで収入が増えました。

海外事業費
対面スタディツアーの開催や物価高騰により、現地経費が増加しました。他方、現地スタッフの退職により人件費が想定より少なくなっています。

国内事業費
貧困問題や人権侵害に関心を持つ若者を主な対象に、講演・インターンシップの受け入れなどを行いました。新職員採用に伴い、人件費が増加しています。



*詳細な決算報告書(活動計算書、貸借対照表、監査報告書、財務諸表の注記については、ウェブサイト上で掲載しています。

<https://access-jp.org/about/reports>

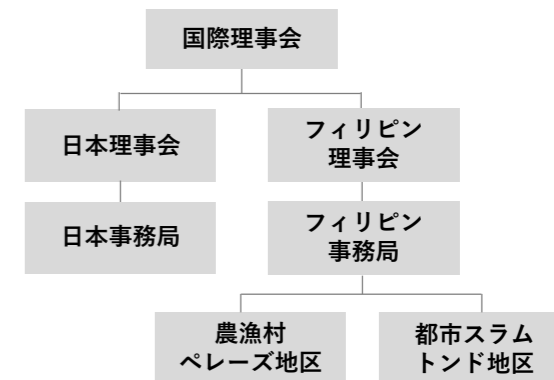
組織概要

認定NPO法人
アクセスー共生社会をめざす地球市民の会 (2024年11月時点)

所在地 612-0029 京都市伏見区深草西浦町8-85-4
TEL 075-643-7232
設立 1988年10月1日
法人格取得 2000年2月7日
認定取得 2016年8月10日



理事長 野田 沙良
常務理事 森脇 祐一
理事 位田 浩 片岡 卓三 倉辻 悠平
崎山 政毅 白坂 有子 新開 純也
杉山 遼 田中 雅規 西村 知晃
廣瀬 昌代 松本 祐子
監事 藤野 正弘
日本事務局 森脇 祐一 野田 沙良 竹内 彩帆
中村 智子 塩田 真也 日高嶺那



日本とフィリピンのスタッフをHPで紹介しています!
<https://access-jp.org/about/staff>

一緒に届けてください



生きる力、変える力をフィリピンへ

学びたい、働きたい、貧困をなくしたい。
そんな願いを持った子どもたち、女性、若者たちの
力を伸ばすアクセスの活動は、みなさまからのご寄付に支えられています。
一人ひとりがもつ「生きる力・変える力」を引き出していく活動を
ぜひいっしょに広げてください。



1000円で
給食10食分に



月1,000円×1年間で
働きたい女性3人のための
フェアトレード商品生産研修に



月3,000円×1年間で
新品の通学靴36足分に



認定NPO法人アクセスー共生社会をめざす地球市民の会

〒612-0029 京都市伏見区深草西浦町8-85-4

☎ 075-643-7232

✉ office@access-jp.org



🏠 <https://access-jp.org>

📷 access_japan

📘 accessPhilippinesJapan

✂ access_tour

＼ ご支援くださった方には、報告書やメールニュースで、活動の様子をお届けします ／

マンスリー
サポーター
募集中！

今回だけのご寄付も
大歓迎です

▼クレジット決済



ご寄付の40%が控除に

月1,000円のご寄付を1年間すると、
最大約5,000円の控除がうけられます。

アクセスは京都市から認定を受けた「認定NPO法人」です。認定
NPO法人へのご寄付は、税控除の対象となります。

▼郵便振替 00960-8-159800 加入者名 ACCE